

磯村英一 いそむら 社會學者。明治二十六年一月十日東京生れ、平成九年四月五日歿（一九三一九七）。筆名北村令二、兩宮一夫。昭和二年東京帝國大學文學部社會學科卒。東京市役所に入り、豊島・牛込・澁谷各區長等歴任。戦後都民生局長、都庁報室長等を経て、二十八年東京都立大學教授、三十二年東京大学教授、のち東洋大学教授、四十四年學長。同和対策協議會會長、日本都市學會會長を務めた。

著書「ロスムー家なき町の生態と運命」（昭和二十二年一月）、「二十五日大日本雄弁會講談社「ミリオン・ブックス」）、「心中考」（昭和二十四年四月）、「二十五日講談社「ミリオン・ブックス」）、「釜ヶ崎ースラムの生態」（共編、昭和二十六年十一月一日ミネルザ書房）、「ことばのよう心得帳」（昭和二十七年五月）、「八日富山房」）、「都市学」（昭和五十一年九月）、「二十日良書普及会」）、「私の昭和史」（昭和六十年五月一日中央法規出版株式会社）等。

